













悟道軒圓玉口演

A black and white illustration of a person in a dynamic, crouched pose, possibly a dancer or performer. The figure is wearing a headpiece and holding a long stick or staff. The style is graphic and expressive, with bold lines and shading. The figure is positioned in the center-right of the frame, with their body angled towards the left. The background is a textured, light gray.

[illegible]

電話 二六六六 黃金鋪

[illegible][illegible][illegible]

# クラップ白粉

全国の貴婦人令嬢御愛用品

一番高尚で美しい艶の出る

(一) 手順の化粧お

皮膚の美を磨き出す  
日本名物クラップ洗粉  
で顔と顔を洗ふ。

(二) 手順の化粧お

一番よくきくアクリルセテ  
止の薬用のお化粧上クラ  
ップ美身クリームを顔から  
指へかけてよく擦る。  
蒸タオルで顔と拭取る。

(三) 手順の化粧お

一番綺麗で美しいおの  
出るクラップ白粉を掌  
に取り、指先で顔に  
つけてつける。(顔は顔  
より少し濃く)。

(四) 手順の化粧お

牡丹髪毛で白粉を延ば  
し、水師毛で白粉をす  
らし、蒸タオルで抑へ  
て白粉を落付かせる。

(五) 手順の化粧お

お顔にホフリミ擦色  
の健色を指すクラッ  
ップ頬紅を目の下から頬へ  
かけて薄く磨く。

(六) 手順の化粧お

クラップ白粉をセーム  
布につけて顔に薄く、指  
先で顔はポットに粉白  
粉をなませて磨いた上  
で、セーム布  
で打つ。







七隻乃至十五隻の船舶警

博士は来る八日夜下仁同夜八時三十分より赤愛仁川委員館主權にて東本願寺に於て一般公衆の爲め九日午前十時三十分より小學校にて内地人學生の爲め同日午後一校五十八叭なりと

年五月五日までの検査数は三千七百十八叭にして内舊持等四百八十八叭一等八百六十一叭二等一千七百七十七叭三等五百九十五叭不都合の山を得て兩氏は翌三日に群山を經り著即夜群山有方者の集會を開き恒書記長より上林長官に阪上眞氏との會見願を報告し續き

の利子を支拂ふ可き旨發表せり(紐育電報)

に於て歸人師生並に同公衆の爲  
めに講演會を開催する由尙希留  
建裁に一體以上寄附者に對し柳  
莖の爲めに應ぜらるゝ由なれば希  
留者往くとも七日迄に東本願寺別  
居の價格三錢也其の他の漁師より  
月二十七日背山島に於て愛媛縣の  
莖島移住漁民歸の巾着網を使用し  
歸一萬三千疋を獲たるが之れ本道  
各小學校長滿洲視察團三名、  
一行は三日午前衆府内各學校  
一校は國來者、愛媛縣吉野郡  
列車にて大田を經て京城に向ひ

○南比周亭團且哉兌

一日、府政界中より「岡大尉に際遇したる省の内、新鮮在勤者」の如し  
安武基雄・川原健治・金田澤郎・井本信市  
伊藤重雄・綿村隆三・三浦孝太郎・木村芳男・小崎吉典・西郷謙二・須田夫久  
若松順次・佐々木格蔵・高橋秀夫・若谷友之助・大塚啓一

昨大正六年中の優良牛種付け数は五萬五千五百五十八頭也本年中に右種付けの生産を見た譯なくば從來水道より内地仕の他に移出したりは屠場に依りて漸く拂底を告

は米穀總數二萬五千七百三十七内一等四百七十三頭二等三千四零九頭三等一萬八千七百頭不含三千零八十五頭なりしと▲鮮南農業株式會社にては

●李純聖國務院葬明

●満鐵雇員昇格 満鐵會社にては六月一日期を以て同社總務部文書課勤務雇員高山辰夫以下百名に對し職員を命ぜり

●忘機哈社例會 忘機哈社に於ては三月廿三日の地に限られ

●元山鯉輪迭狀況 元山近海は鯉期に入り一昨日第一回の大水揚を見るに至りしが之れが鯉内海に輸送の狀況を見るに昨年迄は南大門龍山嶺外二三の地に限られ

●共ニ營業科目を増加し業務上にても大刷新を加ふる事となり之を以て四月四日午後七時より群山市有志者各新聞記者を料亭花月招待し盛宴を執り

●臺灣總督 ●滿鐵株主總

なるが當日の席上課題は左の如し  
一、教諭煎茶 一、郷友來話

●女子普通中学設立認可 滌て京

●金澤明成郡松浦町二九番地  
氏直氏より申請中なりし開闢法  
の施行に基き、申請の上所入部を  
決定し其地は早く建設の上に入格  
館へ

●林氏後任決定 京族王皇親衛隊長より  
北條推雅(通稱)秘書役を薦せる。藤本郎氏  
の代理に於て是の職務を承る元角郎氏  
の長兄正太郎氏は東京の所上人部を  
兼つて居り、此の職務を承る元角郎氏  
の長弟正太郎氏は滋賀県木口技師會  
館へ

●小坂廣永(王子製機株式會社事務取扱  
員) 同上

●同上海評議所(芝) 同上

●安房辰二氏(神戶市議員) 同上

●有馬辰二氏(神戸市議員) 同上

●最前眞直太氏(三波鐵道技師會  
館) 同僚組

●知事府邸氏(山陽工銀行役員) 同上

●大飯盛(小坂廣永)

司令官本郷中將はこれに擬せられ  
 同中將は赴任日淺く且つ對  
 鐘紡配當士

[illegible]

府特別委員會 三氏は五日東京出發橫濱  
府特別委員會にて審査中の皇族 後九に便乗し九日鳥島に於  
期合は高一、二回委員會期會 昨日蝕觀測の爲出張せり

り斯界は甚だしき萎靡銷沈を呈するに至り、汲切不況なりしが、昨秋の狀態にあり一方、解約率も漸次減少、好反響による財界、好調の影響を大し、居れるを以て、前年に比し、何うとの諸「弊病」は、概し供みた

○外交調査會  
及び金谷大佐は五日午後六  
時發列車にて新義州に向ひ

入者地方に於て増加するに至れり  
 即ち大正元年は新契約高の増加  
 率三割五分三年は三割四分四  
 厘なりし三年に入るや二割七分三  
 厘に減少し四年には一割七分三  
 厘に減少したりしが五年に  
 至る主産地方の買方買方  
 酒の氣が薄き  
 あれば瘴疾  
 とあるまいと  
 平水に水割つて  
 試たが如何に側でも不味く  
 居たが既う  
 酒も生一本が用ひられて順に元

夏雑穀の繁忙期  
 夏雑穀の  
 産地間往來取引の終了を始め閑居  
 小賣商賈の集數も九分通りは順調

十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

一、三厘少なりと雖も、二年の好運期を  
 於て見る時は去る二年の好運期を  
 凌駕すること實に三千六百萬圓な  
 り。

米利加一或學者は云つて居る

◎發表以來意外的好況◎

◎地方と東京の誠實なる財仲は弊店任務の第一要なり

◎附記として他に比類なき義侠的貨物無難な法を提供

◎二枚の債券を買ひ組

◎百枚を樂しむ仕組

◎五圓の出資で二千圓の

組合員となり得る資金

◎はつきにて入會申込次第、集金郵便送し中申物品

迅速取返可也。事業の調査紹介。金融の申付。買受証等

現物買買金圓仲介信託業

福徳會

第一全安

殖貨の一第全安

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

二口百二

三利

合資會社中央商會

桑種

無煙炭一手販賣廣告

長水院無煙炭(粉、塊)

出炭豐富

炭質優秀

價格低廉

水質優美

庫房設備

運送便当

六九八四

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

七三三二

財を護るには? 竹内製ベンド式金庫に限る!!

一手販賣 會社 中村組平壤支店

電話長五〇一四四一番 振替貯金京城三三三三番

約金洋和 店物金洋和 店本耶次藤本釘

番四七七二番五〇四番 番六五二番五〇四番

多數新荷著今回限り 特に割安に提供可致候

京城本町一丁目江戸川横

岡本齒科醫院







大阪・中谷青霞

[illegible]

○五  
冬

婦人界を貫へば三十二頁の「案所の巻」が付  
きそれを六ヶ月集むれば百九十二頁の立派  
な本が出来来る由

日新日報

根にせず竹負ふか抱くかして服らせること  
 見えず（良給の母より）「百日咳の薬は人身  
 にかたしこめてお人の玉に」言ひて二十

2

〓 總通 月收の御方へ、宛越迅速  
 八町三ノ三二、四町上候。 京成  
 〓 乳牛人用 御御取扱して  
 太通(一九八五) 二町支 〓  
 京成は物産は生々酒自白鶴(京  
 一町)約は名一丁目出雲。に果  
 〓 湯屋入山 支店勤務 〓  
 年齡二十歳前 本人來談おれ  
 京成岡崎町留守番 廣瀬商店  
 〓 地方に鐵道便にて送る 〓  
 京成府縣町二九 新室豆腐店

〓 番外 〓  
 〓 黒鉛用貴族輪 〓  
 質流破板安價提供 〓  
 京城明治町二 〓

〓 片山寶店 〓  
 (電話二六五二番)

〓 歸切 〓  
 者、六月五(五)志

京日案內

[illegible]

藥

醬油  
川佳  
造釀

## 藥

仁川代理店 野口商會  
 春日(電話二四四七番)  
 元山代理店 田口國澤  
 南大門(電話二七六〇八三)  
 京成次役店 河村金店

明洋郵船出帆



元山鍾泰源 六月十三日 元山發	咸鏡元 六月十七日 元山發	京畿九 六月十四日 釜山發	雄飛行 密陽金山名世經山 六月十四日 釜山發	浦沙行 大邱府山 六月十一日 釜山發	平壤九 六月八日 清津發
-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------------------	-----------------------------	--------------------

華易

と博したる人蓼エキス

たる人夢エキス

● 釜山、司 字品、神戶、大阪行	● 安平丸 六月五日 後十二時	● 神戶、大阪行 △日語丸 六月九日 凌五時出	● 仁川出帆
------------------------	-----------------------	-------------------------------	-----------

用祖

歐南	歐洲	北洲	湖南
行行	行行	行行	行行
一年	一年	一年	一年
四回	四回	四回	四回
甘肅	甘肅	甘肅	甘肅
主要	主要	主要	主要
鐵路	鐵路	鐵路	鐵路
後四	後四	後四	後四
時出	時出	時出	時出

東京町  
城一  
木丁  
町

[illegible]

日本郵船出帆

第一太湖五  
君代丸  
六月十二日  
後四時




共同丸  
六月九日正午出港



明洋郵船出帆


山陽丸  
六月十一日  
六月十三日  
釜山發  
元山發



○大阪行  
六月十四日  
元出



金剛山遊覽便  
行月六回  
自十月五ヶ月間



東廻慶興丸 六月十二日 木蘭

公州九 六月十四日 木浦發



九月 日鎮南浦發



電話長一一七〇番  
(其他各寄附地二軒各取扱店アリ)

